

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525(にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp



(緑樹苑内撮影)

母の日に寄せて、一冊の素敵な絵本を紹介したい(すでに多くの皆さんはご存じとは思いますが)。それは、アメリカでベストセラーになったロバート・マンチの『ラヴ・ユー・フォーエバー』である。

お母さんと息子の物語で、お母さんはうまれたばかりの息子を抱いてうたう、「アイ・ラヴ・ユー」いつまでも アイ・ラヴ・ユー。どんなときも わたしが いきている かぎり あなたは ずっとわたしのあかちゃん」。

息子はどんな成長して、わんぱくになりやんちゃをして、段々母親の手に負えなくなる。それでもお母さんは眠っている息子を抱いて「.....あなたは ずっと わたしのあかちゃん」とうたい続ける。息子が大人になってもお母さんのうたは続く。そして、母親はやがて歳をとり、息子のところには行くことも抱いてやることもできなくなる。いつものうたもうたえなくなる。母親の許を訪ねてきた息子は、そんなお母さんを抱いて「アイ・ラヴ・ユー いつでも アイ・ラヴ・ユー どんなときも ぼくがいきている かぎり あなたは ずっと ぼくのおかあさん」とうたう。

息子は自分の家に帰ると、眠っているおんなの子をだっこして、お母さんがそうしたように「.....ぼくがいきているかぎり おまえは ずっと ぼくのおかあさん」と、うたうのである。

親子の絆を、それが未来永劫続くことを美しく描いた作品である。そして、そこにはまぎれもない真実も込められているような気がする。お母さんにとつては、我が子は幾つになっても「私の赤ちゃん」である。子供が五十になっても六十になってもそれは変わらない。しかし、子供の側はいつまでも赤ちゃんではなく、成長して大人になり、やがては親になる。親子の心の距離感はずしも同じ質や量の双方向ではない。ただ言えることは、子供も親になると我が子に自分の親がしてくれたように「私の赤ちゃん」をずっと愛し続ける。

そこには子供を産み育てる親の喜びと老いてやがては絶えていく悲しみがある。その無常に抗うように貫かれていくのが「親子の絆」だろうか。(富永健)



第5回 社会福祉法人緑樹会主催 国際ひやみかち節コンクール

平成29年4月16日(日)第5回国際ひやみかち節コンクールが沖縄市市民小劇場あしびなーで開催された。一月から一般募集を開始し三月末の締め切りまで集まった作品は16組。厳正な一次審査を通過した10組が本選の舞台に立った。

竹とんぼ



審査にも熱が入ります。ライブハウスMODS喜屋武尚氏。



審査員特別賞(かりゆし賞) No.6 Jouer
バイオリンとギター、シユエ、会場に爽やかな風を呼んだ。



審査員特別賞(仲本工業賞) No.5 MOON ROSES
妖艶なベリーダンスで会場を魅了したムーンローズ。



比嘉マチ子民謡研究所からは門下生5名が参加。

No.8 比嘉マチ子 民謡研究所



元気いっぱい、うるま娘はダンスを取り入れ賑やかに会場を盛り上げた。

No.7 うるま娘



審査員初参加となった山内盛彬翁の曾孫・山内盛貴氏。翁愛用のハチマチで登場。



笑いあり感動あり。オーディエンスも盛り上げる。



叔母と甥のコンビ・ライム。軽やかなアレンジで会場を沸かせた。

No.10 来夢



3大会連続出場の印鐘理緒はカンカラ三線をギターに持ち替えて、新たな仲間と。

No.9 りお・Nami-hey! 慶一郎・翔



第5回国際ひやみかち節コンクールひやみかち大賞に輝いた「りお・Nami-hey! 慶一郎・翔」



フィナーレはもちろんカチャーシー!舞台上を所狭しと駆け回る!また来年!



ゲストライブは今年のひやみかち大賞、アカペラグループマフィンズ



審査員特別賞(匠才庵賞) No.1 那覇太鼓
総勢17名の力強い演技で見事オープニングアクトの大役を果たした。

No.1 那覇太鼓



「競うのは歌唱力、演奏力、表現力、そしてなによりもひやみかち力!!」。今年も様々なジャンルのひやみかち節が集まった。主催者挨拶で緑樹会金城洋子(かなぐすくようこ)理事長は「百年も前に世界の音楽の融合を唱え、柔軟な感性と強い探究心を持ち続けた作曲家・山内盛彬翁なら、今の時代に果たしてどんな音を奏でるのか。そう思うと改めてこの曲の力強さに

気づかされ、そして挑戦者たちの豊かな感性に驚かされるばかりです」と述べ、開幕となった。



小6、中1、中2の三人組。沖縄ならではの「三線女子」

No.4 はいびすかす♪



審査員特別賞(コザ信金賞) No.3 比嘉三兄弟
小学6年、4年、3歳の兄弟ユニット。会場は温かい拍手と声援に沸く。

No.2 安慶名大芽



若干10歳ながらその歌唱力は大人顔負け。

2時間にわたる競演の後は昨年第4回大会ひやみかち節大賞のアカペラグループマフィンズのステージ。彼らが大賞に導いたマフィンズ版ひやみかち節ともいえるボイスパーカッションや美しいハーモニーにはさらに磨きがかかり、受賞以来、県内各地で活躍している彼らの成長も見られた。

厳正な審査の結果、ひやみかち大賞は3年越しの夢を叶えた印鐘理緒引き入る「りお・Nami-hey! 慶一郎・翔」に決定。ボーイ、ギター、津軽三味線、三線と言った個性的な構成もさることながら、なによりも「ひやみかち力」に象徴されるパワー全開の熱いステージが審査員、会場両方から高い評価を得た。

第5回記念大会となった今回、ひやみかち大賞には特賞として山内盛彬伝送楽曲保存会から「山内盛彬賞」も同時授与され山内盛彬翁の曾孫である山内盛貴氏より改めて賞金が手渡された。

(文・金城和郎 写真・安谷屋直理)

〈お礼とご連絡〉
過去最大の入場者数で会場の許容を超えてしまい、せっかくなお越下させたにも関わらず入場をお断りさせて頂いた方々が多数ございました。深くお詫び申し上げます。また、未使用のチケットをお持ちでしたら事務局(緑樹会)にて返金させていただきますので、よろしくお願いたします。

多大なるご支援ありがとうございました。今後とも末永いご鞭撻をお願いいたします。

春の遠足 に行ってきました!!



みどり児童クラブ

3月29日(水)に、みどり児童クラブは春の遠足で海洋博公園へ行ってきました。

約2時間かけて到着。まずは『海洋文化館』でプラネタリウム鑑賞。中には初めての子ども達もいて、始まる前に暗くなり、最初は「こわい」と怖がっていましたが、きれいな星空に変わった瞬間、きれい！すこーい！と歓声をあげていました。

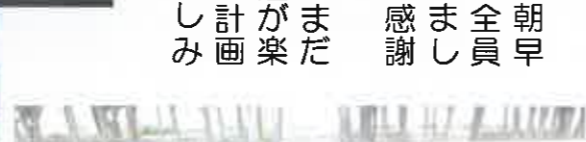
その後はお弁当を食べ、恒例のおやつ交換パーティ。中にはおやつに『あたりめ』を持って来た強者も！(笑)

その後は『オキちゃん劇場』でイルカショーの見学。芸暦40年のベテランイルカもいて、子ども達はもちろん、職員も一緒に楽しみました。

最後に大きなネット遊具がある『ちびっことりで』で遊びました。天気にも恵まれ、初夏の陽気の中、汗だくになって遊びました。帰りのバスの中ではさすがに遊び疲れて熟睡していました。



当日は42名の参加で朝早くの集合にも関わらず、全員集合時間までに集まりました。各ご家庭のご協力に感謝します！
次回の遠足は夏休み。まだまだ先ですが、子ども達が楽しめる様、職員みなで計画中です。夏休みもお楽しみに！(野崎太郎)



浜下り&ドライブ 旧暦三月三日 沖縄伝統行事

介護老人福祉施設緑樹苑

介護老人施設緑樹苑では4月6日(木)、浜下りドライブに出かけた。緑樹苑を出発し、泡瀬の漁港へと向かう。車内では、外の風景を見ながら楽しく談笑し、あつと言う間に漁港へ到着。おやつの際には名物の天ぷらを味わった。

利用者の皆さんは、美味しい天ぷらと楽しい雰囲気、自然と顔がほころび笑顔があふれていた。

帰りの車中では、具志川からコザを通った際に「昔と比べても発展している」「この場所には昔、別の建物が建っていたんだよ」と、職員へ語ってくれた。

最後に「また、来年も浜下りへ行きますよ」と約束し無事浜下りドライブを終えることが出来た。(仲宗根亮)



ケアハウスでいんさぐぬ花

3月30日(木)、ケアハウスでいんさぐぬ花では、平安座漁港の公園へ『浜下り』に出かけた。天候にも恵まれ、日中の気温も温かく、絶好の日よりとなった。

浜辺でバケツに汲んだ海水に手を浸し健康祈願をした。その後、おやつ、天ぷらやお菓子を食べながら、職員の三線に合わせて歌や踊りを楽しんだ。少し風もあった。



が磯の香りと絶景の海をバックに記念撮影を行った。帰りは、利用者からのリクエストにより浜比嘉島までドライブをした。車中では「楽しかったよ、また行きたいわ」と名残り惜しみながら無事帰苑した。(松尾涼子)



平成28年度定年退職者辞令交付式&慰労会



緑樹会では3月31日(金)、平成28年度定年退職者辞令交付式を行い、定年退職する職員2名に辞令を交付した。

上江洲ひとみ副施設長は、緑樹会に勤務し22年9カ月。金城洋子理事長から、長年の労をねぎらう言葉と共に辞令が手渡され、感謝状及び記念品が贈呈された。

辞令交付式後の慰労会では、参加した職員から労いの言葉や、数々の思い出話に花がさき、時間がたつのも忘れぬほど笑顔に包まれた慰労会となった。(與座嘉一郎)



定年退職を迎えた上江洲ひとみケアハウスていんさぐぬ花副施設長。



平成29年度辞令交付式



新年度を迎え、本格的に業務がスタートする4月3日(月)、平成29年度辞令交付式が行われた。

新年度の事業開始にあたり、金城洋子理事長から訓示が述べられ、参加した職員は決意を新たにしました。

新卒者をはじめ、新規事業に伴う新規採用のほか、昇任や部署異動など、人事に伴う辞令が交付された。職員は、新たな門出にやや緊張した面持ちで辞令を受け取った。

職員を代表して、新規事業となる沖縄地域包括支援センター西部北の山城勝彦センター長が、事業開始に向けた意気込みを語った。

平成29年度の主な人事は下記のとおり。

平成29年度人事

【採用】

具志川仁維菜(特養緑樹苑)・喜友名俊(ていんさぐぬ花)・比屋根英朗(特養緑樹苑)・金城寿美(特養緑樹苑)・玉城幸代(緑樹苑居宅介護支援事業所)・川端あすか(包括センター西部北)・徳村真澄(包括センター西部北)・山内勉(包括センター西部北)・田港要(包括センター西部北)・徳元将己(特養緑樹苑)

【異動】

長田高吉(みどり児童クラブ)・仲宗根しのぶ(はいびすかす)・与儀順子(特養緑樹苑)・松田聡子(はいびす)・濱川りり子(包括センター西部北)・金城弘美(包括センター西部北)・比嘉久美子(包括センター西部北)・川上昌子(緑樹苑デイサービスセンター)・小渡修(ていんさぐぬ花)

【昇任】

山城勝彦(センター長)・小澤栄子(係長)・下地義治(係長)・渡久地一(係長)・桑江優子(介護主任)・仲宗根亮(介護主任)・照屋利恵子(介護主任)・宜名真美(調理主任)・喜納兼善(介護副主任)・宮城静海(介護副主任)

沖縄市地域包括支援センター西部北 開所式 (緑樹苑)



開所のテープカットを行う(左から)包括センター西部北の山城勝彦センター長、沖縄市社会福祉協議会の積静江会長、緑樹会の金城洋子理事長、沖縄市健康福祉部の上原三千代部長、沖縄市老人クラブ連合会(かりゆしシニアクラブ)の石川幸夫会長



来賓あいさつでは、沖縄市健康福祉部の上原三千代部長が開所の祝辞と沖縄市の高齢者福祉の発展を語った。

沖縄市地域包括支援センター西部北の開所式が4月8日(土)、行われ、自治会関係者や沖縄市職員、市内の居宅介護支援事業所など、多くの関係者が詰めかけた。

これまで行政が担っていた沖縄市地域包括支援センターが平成29年4月から市内七か所に設置され、地域型包括センターとして業務が開始された。沖縄市内各自治会区のうち、八重島・センター・中の町・胡屋・園田が「西部北」で担当圏域となる。高齢者に関する様々な相談や、その解決に向けて総合的な支援に取り組む。

開所式では、緑樹会の金城洋子理事長が、緑樹会の長年の経験を活かし、地域の高齢者やご家族から頼りにされるセンターとなることや関係者への感謝の言葉を述べた。



沖縄市地域包括支援センター西部北の職員。左から、山城勝彦(センター長兼社会福祉士)、田港要(主任介護支援専門員)、濱川りり子(正看護師)、山内勉(介護支援専門員)、徳村真澄(介護支援専門員)、川端あすか(正看護師)、金城弘美(介護予防等把握業務担当)、比嘉久美子(第2層生活支援コーディネーター)8名。



写真上、事務所内の内覧する関係者。写真下、懇親会は和やかな雰囲気となった。

述べて。また、沖縄市健康福祉部の上原三千代部長が祝辞を述べた。

山城勝彦センター長は、「高齢者の暮らしをサポートするため職員一同努力を重ね誠心誠意業務に励んで参ります」と力強く決意を語った。式典では、テープカットのほか、西部北の職員8名が紹介され、それぞれが担当する役割と今後の抱負を述べた。

式典後の懇親会では、関係者が名刺交換をしながら、交流を深め終始和やかな雰囲気となった。(砂川智規)

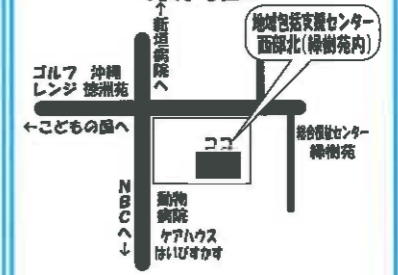
ひとりで抱え込まないで... どんな相談も受け付けます。

一人暮らしの不安やご家族の介護など、高齢者に関する様々なご相談に対応します。「どこに相談すればいいかわからない」という時も、まずはご連絡ください。介護・福祉サービス、保健医療、虐待・財産管理、各種制度のことなど、どんなことでも大丈夫です。相談内容に適した情報提供や助言などを行います。



沖縄市地域包括支援センター西部北(緑樹苑内)

案内図



〒904-0021
沖縄市胡屋7丁目1番28号
電話:098-988-5525
FAX:098-988-5526

5月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(月)			スカッシュボール		
2(火)			輪投げ	映写会	
3(水)		ミニシアター	手工芸	手作りおやつ会	学童休園日
4(木)		カラオケクラブ	ボウリング	ハンドマッサージ	学童休園日
5(金)			映写会	手芸クラブ	学童休園日
6(土)			歌会		園外活動
7(日)			カラオケ		
8(月)		書道クラブ	スカッシュボール		
9(火)		三板クラブ	輪投げ	三板	
10(水)		防災訓練	手工芸	映写会	
11(木)	防災訓練	手作りおやつ会	母の日祝い会	防災訓練	
12(金)	母の日祝い会	母の日祝い会	映写会	手芸クラブ・三板	
13(土)			歌会		園外活動
14(日)			カラオケ		
15(月)		お茶会	スカッシュボール		
16(火)		ドライブ	防災訓練		
17(水)		ミニシアター	手工芸		
18(木)		カラオケクラブ・美化活動	誕生会	映写会	
19(金)		手芸クラブ	映写会	手芸クラブ・手作りおやつ会	
20(土)			歌会		園外活動・読み聞かせ
21(日)			カラオケ		
22(月)		書道クラブ	スカッシュボール	誕生会	
23(火)		三板クラブ	輪投げ	三板	
24(水)	防災訓練	防災訓練	手工芸	防災訓練	
25(木)		散髪	ボウリング		
26(金)	誕生会	誕生会	映写会	手芸クラブ・三板	
27(土)			歌会	映写会	園外活動
28(日)			カラオケ		
29(月)	地バーリー	地バーリー	地バーリー・スカッシュボール	地バーリー	地バーリー
30(火)			輪投げ		
31(水)			手工芸		

今月号の表紙に掲載した写真は、苑内にあるイペーの木。三年前に植樹したのですが、3月23日の早朝、初めて開花しました。約二週間ほどかけて満開となり、鮮やかな黄色が枝先を彩りました。

植樹した直後から枝葉が弱り始めたため、専門家のアドバイスも受けながら、職員が毎朝水やりを行い、徳元氏が土壌の改良や根の手入れなどを続けやっとなり、持ち直してきました。その後も、手入れを続け、三年目にして初の開花に至りました。

イペーは、ブラジルを代表する花として知られ、ポルトガル語で「ipe」だそうです。沖縄には、戦後に南米から移入され、今では「イペー通り」など各地で親しまれています。もう花は落ちてしまいましたが、すでに新芽をのぞかせており、来年の開花を予感させています。(砂川智規)

編集後記

〈金員の部〉
與儀 清春様

(平成二十九年三月一日～三月三十一日)

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

